

講義コード	21K0130101	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	北村 行伸、上原 宏、大井 達雄、 白川 清美、永田 聡典	開講期	1期
科目名	データサイエンス入門								
履修前提条件									
授業の目的	<p>本学データサイエンス学部1年生の入門的科目であり、データサイエンスの基本知識、本学のカリキュラムの特色を紹介しながら、実際の活用事例も交えた講義により、データサイエンスのフロンティアについておおよそ理解することを目的とする。（オムニバス方式 / 全15回）</p>								
到達目標	<p>データサイエンスの全貌を理解する。また、データサイエンスを用いた各種の実務・研究テーマから自らの関心のある分野を見つける。</p>								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<p>この科目では、授業中に出す課題および授業における復習を行い、60時間以上の授業外学修を行うこと。</p>								
授業計画	<p>【第1回】データサイエンスの全貌1（北村）オリエンテーション 【第2回】データサイエンスの全貌2（北村）データサイエンスと価値創造 【第3回】データサイエンスとスポーツ1（永田）スポーツモニタリング 【第4回】データサイエンスとスポーツ2（永田）スポーツコンディショニング 【第5回】データサイエンスとスポーツ3（永田）スポーツコーチング 【第6回】データサイエンスと観光1（大井）観光データ 【第7回】データサイエンスと観光2（大井）観光マーケティング 【第8回】データサイエンスと観光3（大井）地理情報システム 【第9回】データサイエンスとビジネス1（上原）インターネットデータ収集技術 【第10回】データサイエンスとビジネス2（上原）テキストマイニング 【第11回】データサイエンスとビジネス3（上原）データビジュアライゼーション 【第12回】データサイエンスとデータベース1（白川）データベースの基礎 【第13回】データサイエンスとデータベース2（白川）データベースの実践的活用 【第14回】データサイエンスとデータベース3（白川）SQL 【第15回】データサイエンスの全貌3（北村）総括</p>								
成績評価の方法	<p>授業中に出す課題5回（75%）と授業への取り組み（25%）で評価する。 成績評価にはルーブリックを用いる。</p>								
フィードバックの内容	<p>課題に対する講評を授業内で行う。</p>								
授業実施形態について	<p>【メディア授業】 基本的にオンライン形式で実施する。オンデマンド型や資料配付型で実施する。詳細は、授業において案内する。</p>								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『データサイエンス入門』	竹村 彰通	岩波書店	2018	9784004317135					
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『各回の授業時に紹介する。』									
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『適宜指示する。』									
教員からのお知らせ	<p>授業には積極的に参加すること。</p>								
オフィスアワー	<p>本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。</p>								
アクティブ・ラーニングの内容	<p>意見共有</p>								
その他	<p>授業担当教員へはTeamsのチャット、大学の生涯メールアドレスを利用し連絡すること。</p>								